

琴田小児童が文部科学大臣奨励賞

交通安全年間スローガン

交通安全ゼロを願う標語「交通安全年間スローガン」の入賞作品が発表され、全国から寄せられた15万4,898点の中から琴田小6年の伊東英剛君の作品「運転手さん急いでいるのにありがとう」が文部科学大臣奨励賞を受賞しました。登下校で学校前の横断歩道を渡る際、止まってくれた車に一礼することを習慣にしていた伊東君。そこからこの標語がひらめきました。「下級生にもこの習慣を続けて欲しい。これからも運転手さんへの感謝の気持ちを忘れず、交通事故に遭わないよう気を付けたい」と話していました。



▲受賞を喜ぶ伊東英剛君
(江ヶ崎)

新しい人権擁護委員に 熱田みち子さん

法務大臣からの委嘱を受け、1月1日付けで熱田みち子さん（米込）が、新たに人権擁護委員となりました。人権擁護委員は、毎日の暮らしの中で起こるさまざまな人権に関する問題を解決するため、第1～第4火曜日に市役所または各支所で順番に、定例相談を実施しています。相談は無料で、秘密は守られます。



▲熱田みち子さん

取れたての魚介類に行列

いいおか荘で水産朝市

県内水揚げ量第2位を誇る飯岡漁港で取れた新鮮な魚介類をPRしようと12月26日、食彩の宿いいおか荘で「いいおか港水産朝市」が開催され、朝早くから大勢の人が行列を作っていました。威勢のいい掛け声が響く会場では、新鮮なイワシやサバ、イナダ、ハマグリなどが格安で販売され、1時間ほどで完売していました。また野菜や花きなどの直売が行われたほか、イワシのつみれ汁を食べて、体を温める人たちの姿も見られました。



▲冬の寒さも何のその！ 活気づく会場

悪質商法防ぐ地域のつながり

旭市消費者のつどい



市民が悪質商法被害に遭わないためのさまざまな提案がされたパネルディスカッション

悪質商法などの被害を防ぎ、誰もが安心した生活を送れるようにと12月18日、飯岡保健センター多目的ホールで消費者のつどいが開催されました。会場には市民など110人が訪れ、悪質商法による被害の現状や撲滅に向けた関係団体の取り組みなどの報告に、熱心に耳を傾けていました。またパネルディスカッションでは、行政や消費生活専門相談員、地域で活動する関係団体の代表がそれぞれの立場から悪質商法撲滅に向けた提案や課題などについて意見交換を行い、今後も連携を強めながら活動していくことを確認合っていました。

野菜を食べて元気になろう！

版画で食育

市内の小学校5、6年生が、版画家土屋金司さんの指導を受け作成した、版画の展示会が12月4日～20日、ショッピングセンターサンモールで開催されました。今回展示されたのは昨年の6月から取り組んできた版画の内、後期に実施した6校の作品。会場では、野菜が持つ健康への働きや野菜を食べると元気になる様子などを表現した作品およそ280点が並び、作品の出来栄に感心する親子連れなどの姿が見られました。



力作がずらりと並ぶ

消 防魂あふれる精鋭たちが決意新たに

旭市消防出初式

消防団と消防署員1,011人が参加して、出初め式が1月8日にスポーツの森公園で行われました。出初め式は、消防関係者にとって仕事始めの大事な行事。この日は、それを祝うかのように澄み渡った青空の下、消防魂あふれる精鋭たちが、人員・服装点検、車両と徒歩による行進、一斉放水などを行いました。また多くの来賓からお祝いや激励の言葉が述べられ、精鋭たちは新年とともに決意を新たにしました。

なお長年消防活動に尽力された146人と1分団、消防技術の向上に貢献された4部に、表彰状や感謝状が贈られました。主な受賞者は次のとおり。 ※敬称略
(第1・第2中隊=旭地域、第3中隊=海上地域、第4中隊=飯岡地域、第5中隊=干潟地域)

【千葉県知事表彰】

功労章／山口正巳（第4中隊中隊長）、石井弘幸（第5

▶消防魂あふれる精鋭たちの徒歩行進



▲各中隊代表による一斉放水が新春の空を彩る

中隊中隊長)

精勤章／林勝敏（第1中隊中隊長）、杉崎隆之（第5中隊副中隊長）、林恭一（消防本部 消防司令補）、常世田昌也（飯岡分署 消防司令補）、越川行弘（消防本部 消防司令補）

【千葉県消防協会長表彰】

功労章／平野健治（第3中隊副中隊長）、浪川武樹（第4中隊第3分団分団長）、金杉和哉（第2中隊第4分団副分団長）

精勤章／石毛幸義（第3中隊第1分団分団長）、向後洋一（第3中隊第3分団分団長）、伊藤真之（第4中隊第2分団分団長）、石毛佐京（第5中隊第2分団分団長）、増田裕行（第5中隊第3分団分団長）、佐藤勝彦（第4中隊第1分団副分団長）、高木浩（第5中隊第2分団副分団長）、飯島浩幸（消防本部 消防司令補）、平野政康（干潟分署 消防司令補）嶋田貴裕（消防署 消防司令補）

緑 起物に早朝から長蛇の列

西宮神社春の大祭 「とがらしごぼう」

西宮神社の春の大祭が1月18日に行われ「とがらしごぼう」を求めるたくさんの人が、早朝から長蛇の列をつくりました。とがらしごぼうは、食べれば1年間風邪をひかず福を招くとされる縁起物で、神社に祭られたえびす様の教え、怒って（とがって）はならないという御法（ごぼう）が由来。氏子の「成田区」7地区が毎年交代で作り、味は地区によって微妙に違うといえます。今年は新田区が担当し、用意された約10,000パックは、次々となくなっていました。午前2時40分に一番乗りし、手に入れた市内の男性は「家族で食べたり、親戚に配ったりします」とうれしそうに話していました。

▶手に入るのは年に1度だけ、思わ



華 麗なスティックさばきで金賞受賞！

第16回東関東アンサンブルコンテスト小学校部門

矢指小の女子アンサンブル「ちびっこ☆キャンディーズ」が、1月22日に神奈川県相模原市のグリーンホール相模大野で行われた東関東大会に県代表として出場、華麗なスティックさばきを披露し、見事、金賞を受賞しました。

取り組んだ楽曲、打楽器三重奏「TRIO PER UNO (トリオ・パー・ウノ)」はダイナミックかつ調和が要求され、高い技術がないと演奏するのは非常に難しいとされています。抜群のチームワークと高い技術を誇るちびっこ☆キャンディーズは、この曲を見事に演奏。指導した先生も「大きな大会にもかかわらずリラックスし、すばらしい演奏でした」と話していました。



▲「ちびっこ☆キャンディーズ」 左から明智杏莉さん（4年）、石橋亜湖さん（6年）、酒田麻友さん（4年）

力作はおじいちゃん、おばあちゃんへ

ミニ門松作り教室



▲出来上がった門松の前で「イエーイ！」

自分たちが作った門松で正月を迎えようと、21組の親子が参加して、12月18日に海上公民館で門松作りが行われました。参加者の多くは、わらを缶に巻き、しゅろ縄で絞める工程で悪戦苦闘。「先生、教えてー!」「出来ないよー」など、会場のあちこちで声が上がっていました。

出来上がった門松は、自宅に飾るのはもちろん「おじいちゃんに届けようね」「おばあちゃんを楽しみに待っているね」と話す親子の姿もありました。

食育は家族の絆

海匠「食育フェスタ」2010

食生活・食文化の大切さを伝えようと12月15日、東総文化会館で食育フェスタが行われました。農家の手作り加工品や米粉を使った料理の試食・販売が行われたロビーは、主婦などを中心ににぎわっていました。午後からは、食に関するいくつかの事業の活動発表や、料理界で今注目されているコウケンテツさんの講演会が開かれ「料理は楽しく作って楽しく食べる」「食で命のつながりを感じる」などの言葉に会場内の全員が耳を傾けていました。

※この記事はインターンシップで市の広報に訪れた東金商業高校の高山彩夏さん（鎌数）が作成したものです。



▲食について熱く語るコウケンテツさん

キラキラ光る星のように

第10回スターライトファンタジー

商工会青年部による年の瀬の風物詩「スターライトファンタジー」が、12月5日～25日に海上公民館前広場で開催され、イルミネーションが織り成す演出で冬の街を彩りました。期間中、イルミネーションは毎日午後5時～9時まで点灯、キラキラ光る星のように輝き、訪れた人を魅了していました。また19日は「スターライトフェスタ」が行われ、ミニトレインの運行、バンド演奏や抽選会などをたくさんの人が楽しみました。

大勢の市民ランナーが健脚を競う

第6回市民駅伝大会

県スポーツセンター東総運動場周辺を会場に12月12日、市民駅伝大会が行われました。市内から994人、112チームが参加し、それぞれの思いを込めたタスキをつなぎました。選手たちはスタンドや沿道からの声援に後押しされながら、懸命にゴールを目指していました。各部門の優勝チームは次のとおり。

小学生の部／網戸スターズA（35分35秒）

中学生の部／男子：旭一中A（59分47秒）女子：旭二中
ウルトラガールズ（1時間7分45秒）

高校生の部／チーム旭二駅伝小僧（57分55秒）

一般の部／男子：シーサイドランニングクラブ（1時間3秒）女子：アカデミーレディース（1時間20分21秒）



▲スタート直後から激しい首位争いを見せる先頭集団

給食の人気メニューがめじろ押し

中学校バイキング給食

長年おいしく食べてきた給食も最後の年となる中学3年生たちへ、いつもと違った給食を提供しようと12月21日、市内の中学校でバイキング給食が行われました。



▲「おいしそう」たくさんの種類のケーキを前に思わずほおが緩む（飯岡中）

飯岡中では、給食センターの職員が「人気のメニューを用意してきました。残さず、楽しく食べて一番の思い出にしてください」と挨拶。生徒たちは24種類もの料理を前に「これおいしそう」「デザートいっぱい食べたい」など、待ちきれない様子でした。そして自分の好きな料理をお皿いっぱい盛りに盛り、おいしそうにほおばっていました。



▲光りの演出が人々を魅了（スターライトフェスタ／12月19日）